A MYTHICAL WORLD
POPULOUS II

遥か昔、聖なるオリュンポスの嶺に、

全能の神ゼウスを主神となす神々の地あり。

その力強大にして無比、神々は時には戯れ、

時には大いなる意識を現出せんが為、その力を地上に顕現す。

即ち昼夜を創り、水を操り陽を操って大地を豊かに潤わせ、

そこに住まう者達に豊饒を以て喜びと為さしめた。

しかし一方における、地震、洪水、嵐、その他数々の恐るべき厄災もまた彼らの為せる業なり。

世界の営みのうちにすべからく神々は座し、

森羅万象のことごとくをその大いなるエレメントの力もて操れり。

ここにゼウスの血を受け継ぎしひとりの若者現る。

その者、人間であるが故に神の序列に配されること叶わず、

その神力を以てオリュンポスの神々に戦いを挑み、

やがて見事父神ゼウスに打ち勝って、

その神々の列に参せられることになるであろう者であった。

II

遥か昔、聖なるオリュンポスの嶺に、

全能の神ゼウスを主神となす神々の地あり。

その力強大にして無比、神々は時には戯れ、

時には大いなる意識を現出せんが為、その力を地上に顕現す。

即ち昼夜を創り、水を操り陽を操って大地を豊かに潤わせ、

そこに住まう者達に豊饒を以て喜びと為さしめた。

しかし一方における、地震、洪水、嵐、その他数々の恐るべき厄災もまた彼らの為せる業なり。

世界の営みのうちにすべからく神々は座し、

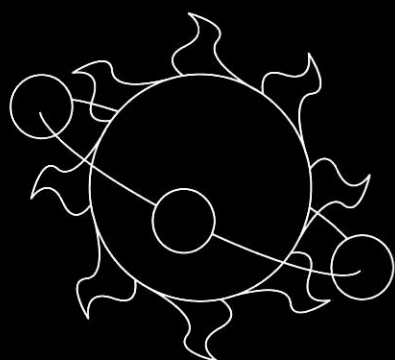
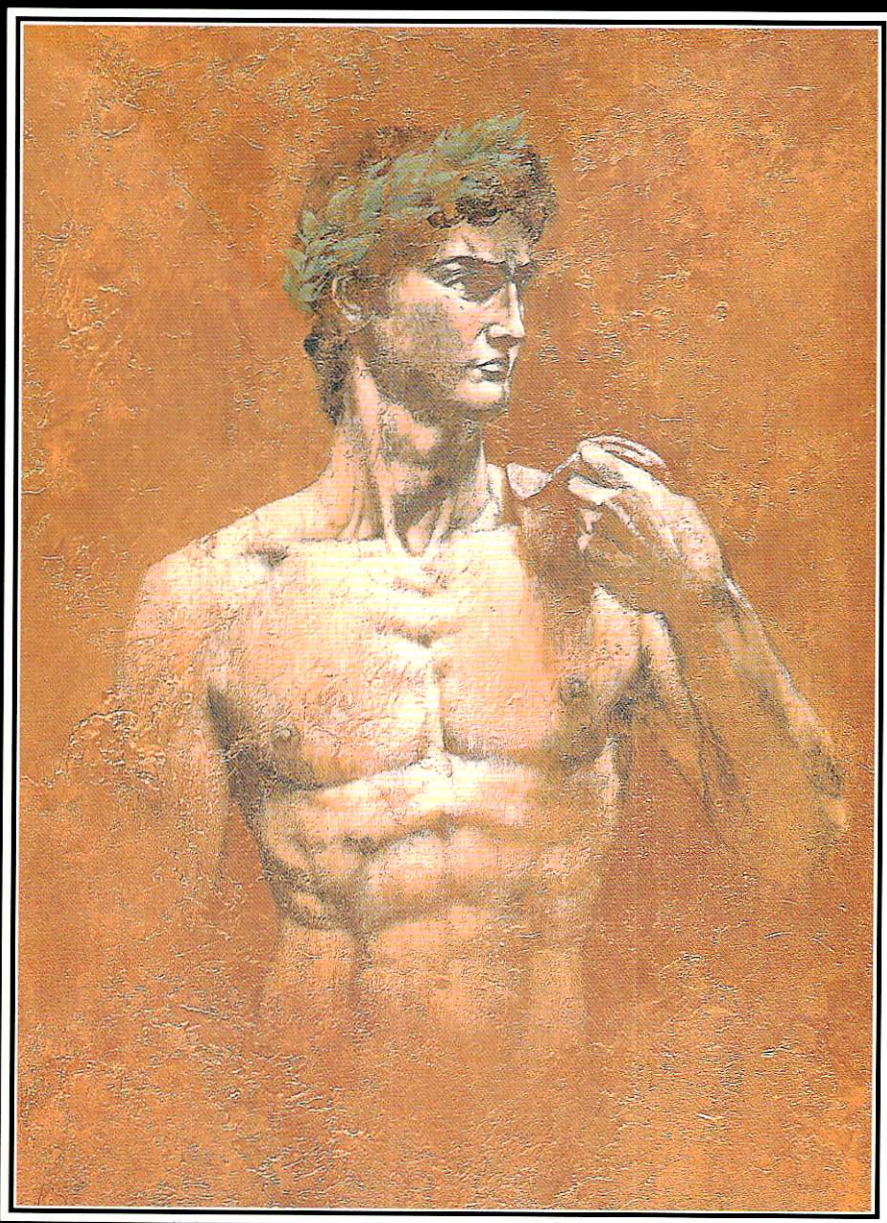
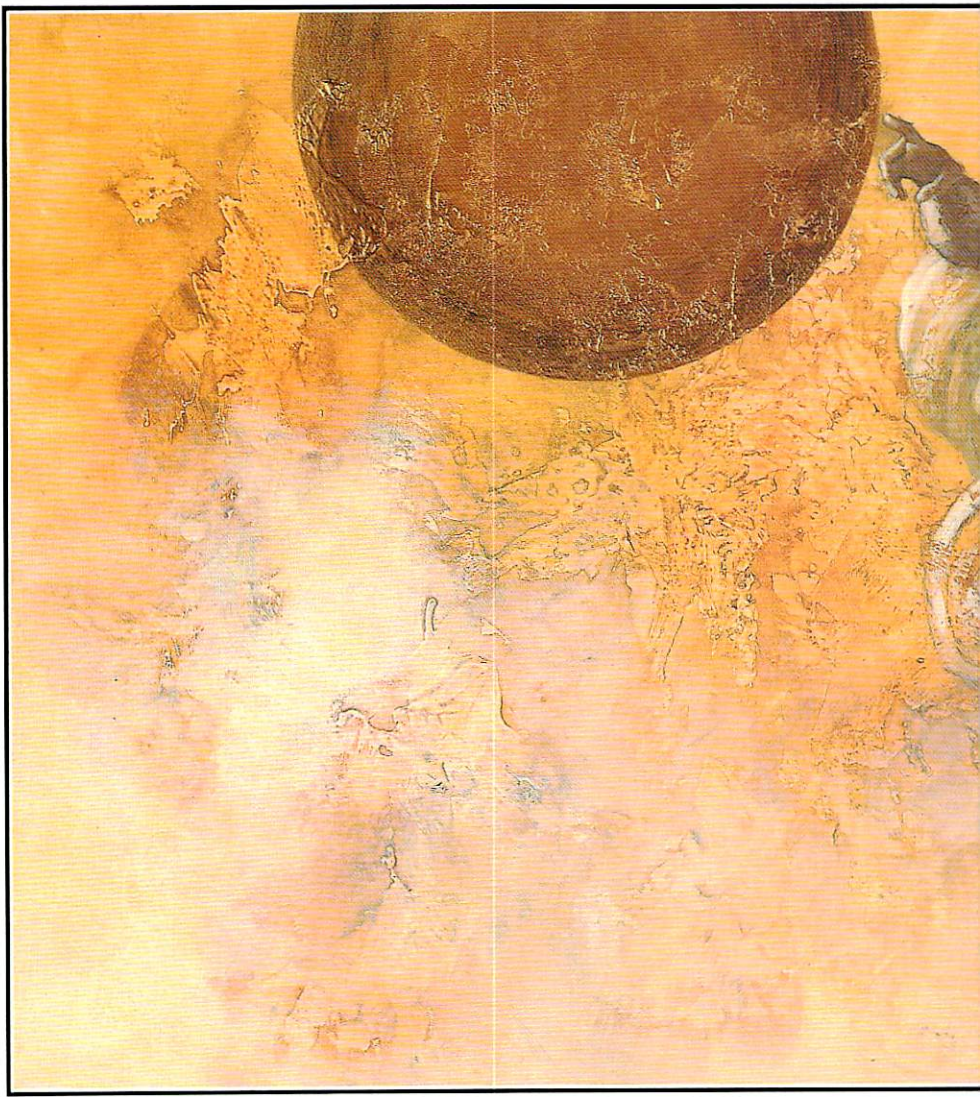
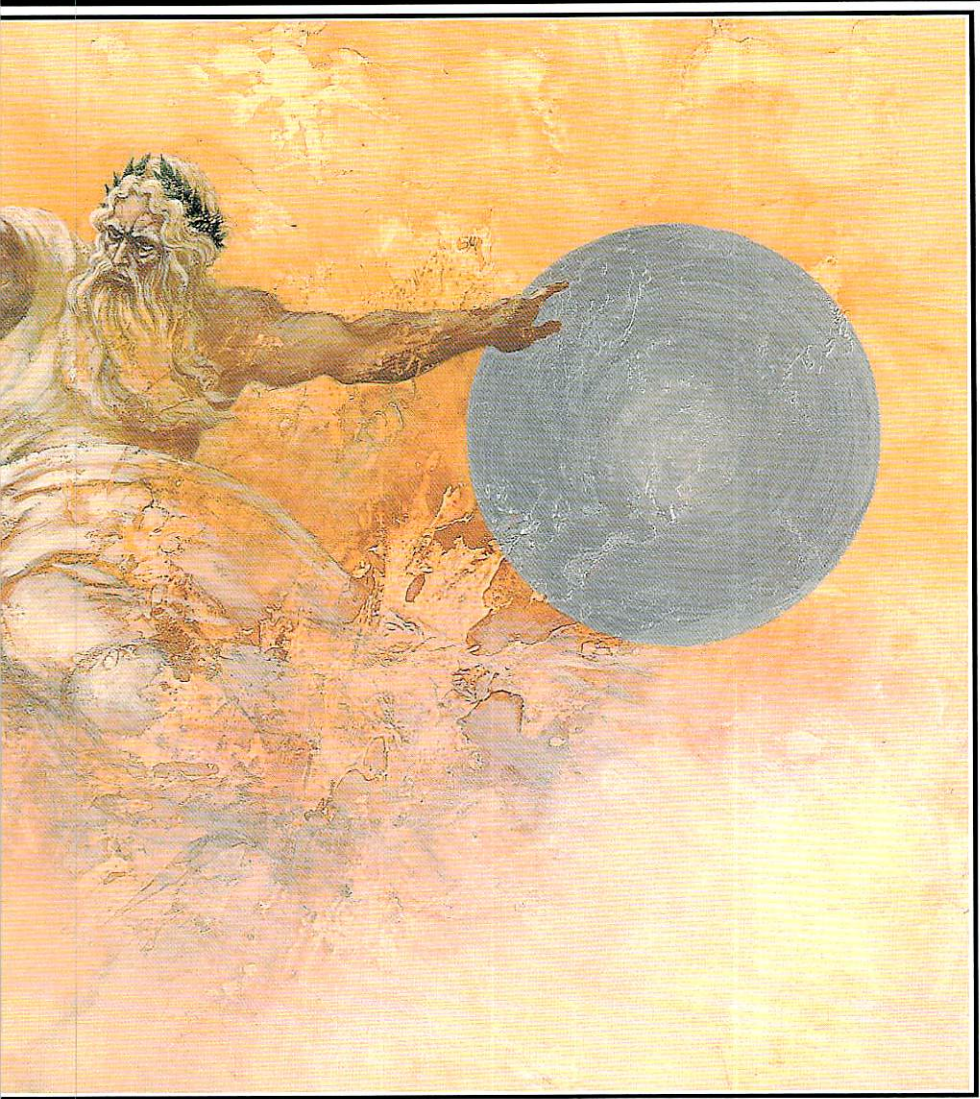
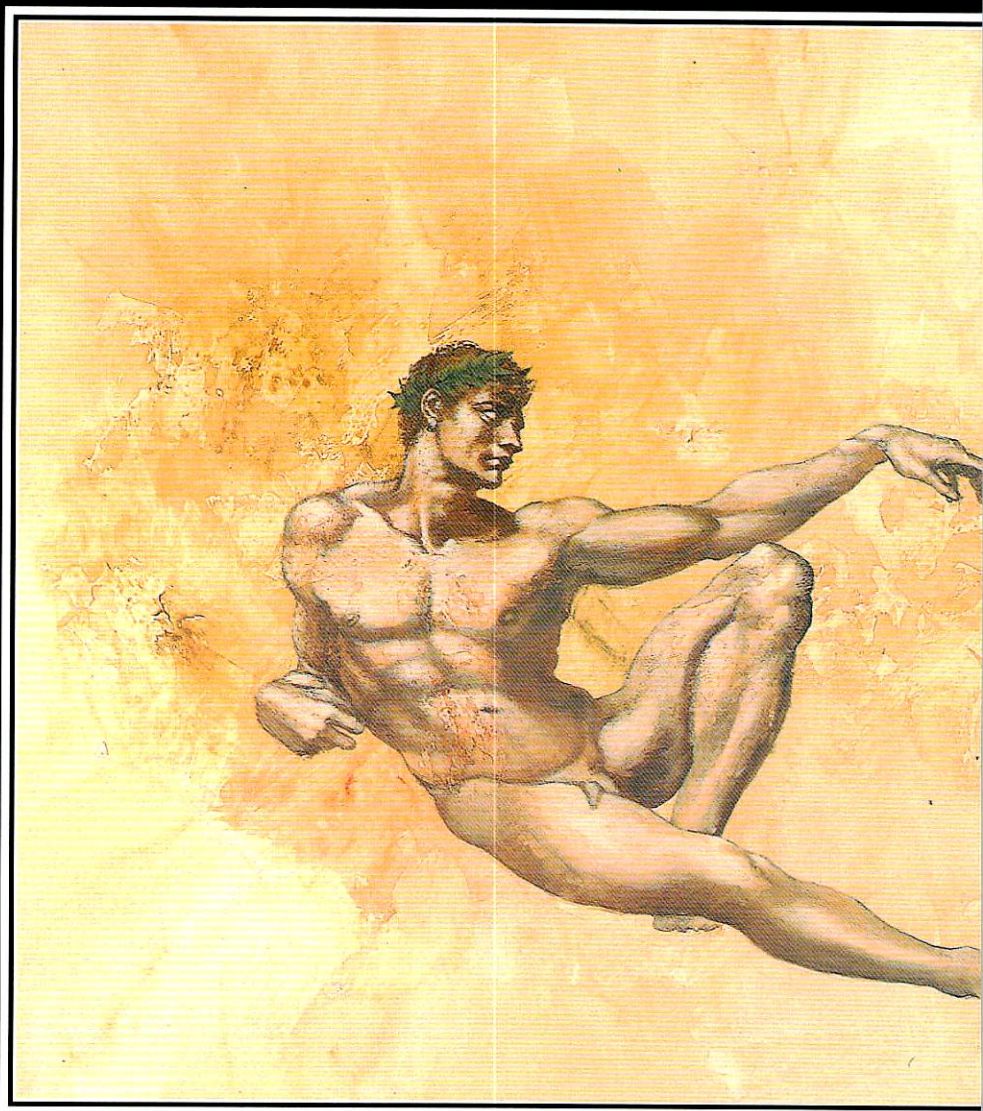
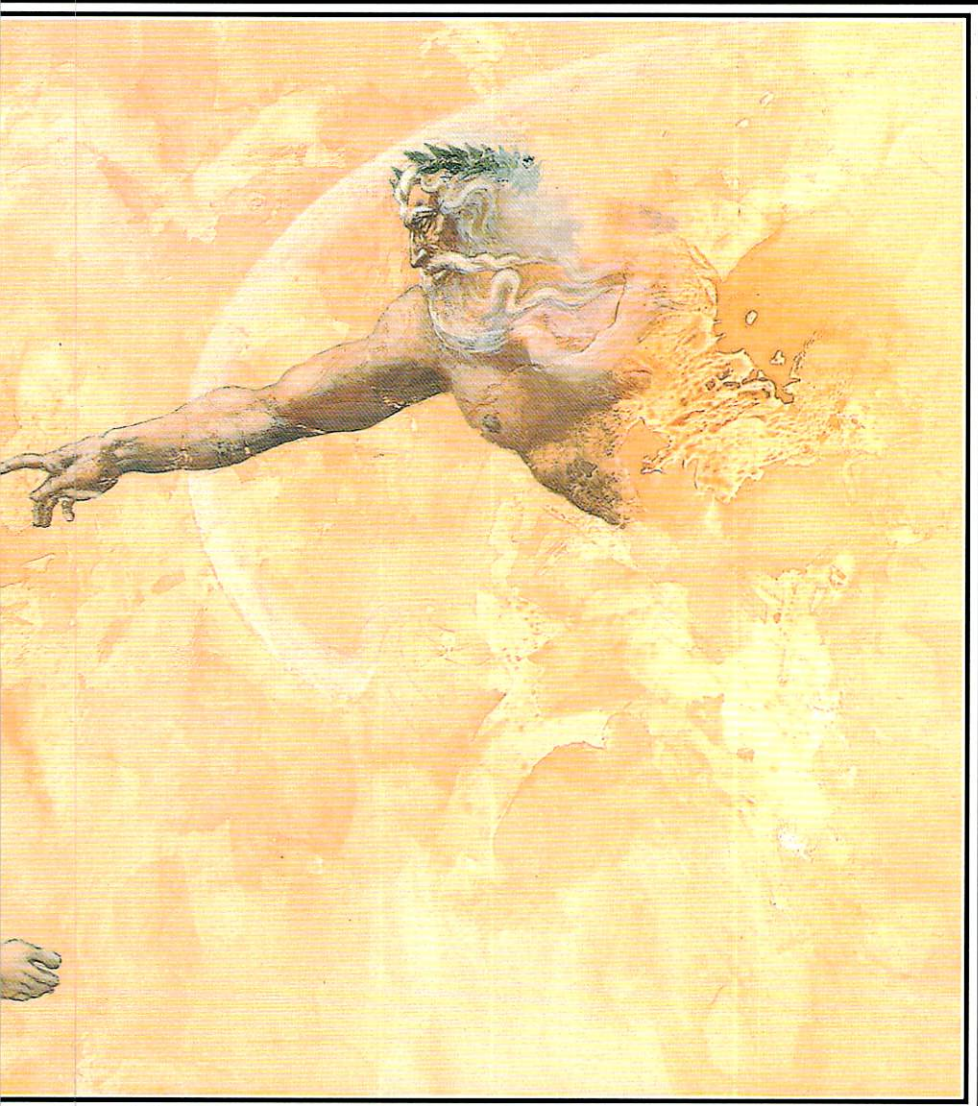
森羅万象のことごとくをその大いなるエレメントの力もて操れり。

ここにゼウスの血を受け継ぎしひとりの若者現る。

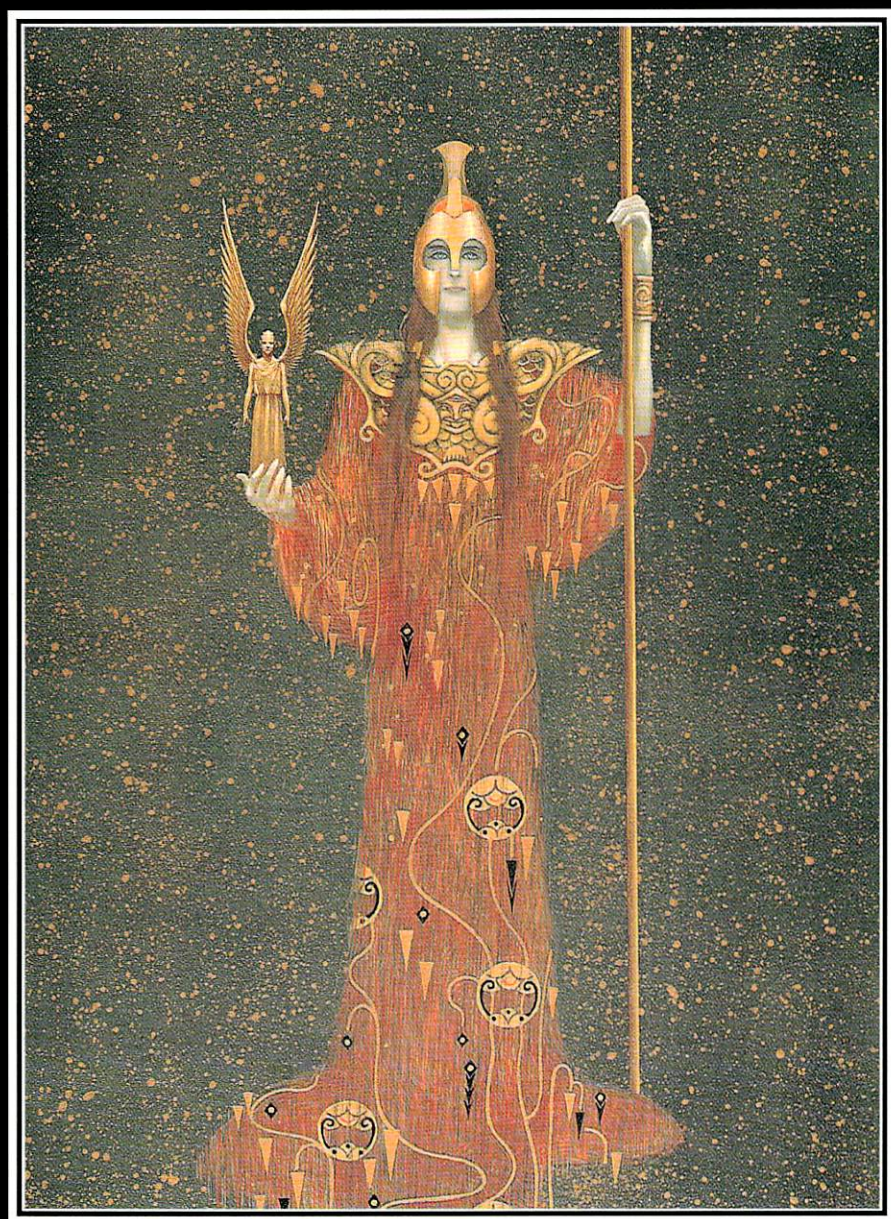
その者、人間であるが故に神の序列に配されることは叶わず、

その神力を以てオリュンポスの神々に戦いを挑み、

やがて見事父神ゼウスに打ち勝って、

その神々の列に参せられることになるであろう者であった。

アテナ

Athena

知性の輝きに縁取られた美しき戦神、パラス・アテナ。
その姿、父神ゼウスの頭部より生まれ出でたる時そのままに、
古代の兜にて秀でたる額を覆い、
白く麗しき胸には、見る者をことごとく石に変えるという
ゴルゴンの生首が嵌め込まれた聖なる鎧アイギスが輝く。
その守護の力は、トロイアの戦に於いて軍神アレスの
呪わしき一撃をも退ける程であった。
携えたる黄金の槍と楯の輝く様は、戦場にて武装せる
英雄達の心をも金色の輝きもて照らし、大いなる武勇の励みともなった。
その知性と勇気を讃え、幾多の都市国家がアテナ神殿を祀り、
長く守護女神として奉じたという。

Aphrodite

アフロディーテ

愛を操り、豊饒をもたらす美の化身。
海の泡より出現したその時より、既に美麗なる女神の姿であり、
愛の天使エロスと女神達の讃美の中、
上陸した島の上を踏むと、
その足元から美しい花々が次々と咲き溢れた。
若き日の情熱を蘇らせ、魅惑を操り、
恋をもたらす愛の女神たるその力には
何人とても抗い難く、
若者はもとより、老人、哲人に至るまで
心を奪われ、更にはしばしば
神々すらもが女神の力に翻弄されたという。

「最も美しき女神へ」と記された黄金の林檎を巡り、ヘラ、アテナと美を競ったアフロディーテは、
トロイア王子パリスの審判により、遂にその林檎を我がものとした。
その時より、神々の中で最も美しき女神の誉れはアフロディーテの名に冠せられ、
以来、その現身は女性美の象徴として讃美と羨望の的となった。

Ares アレス

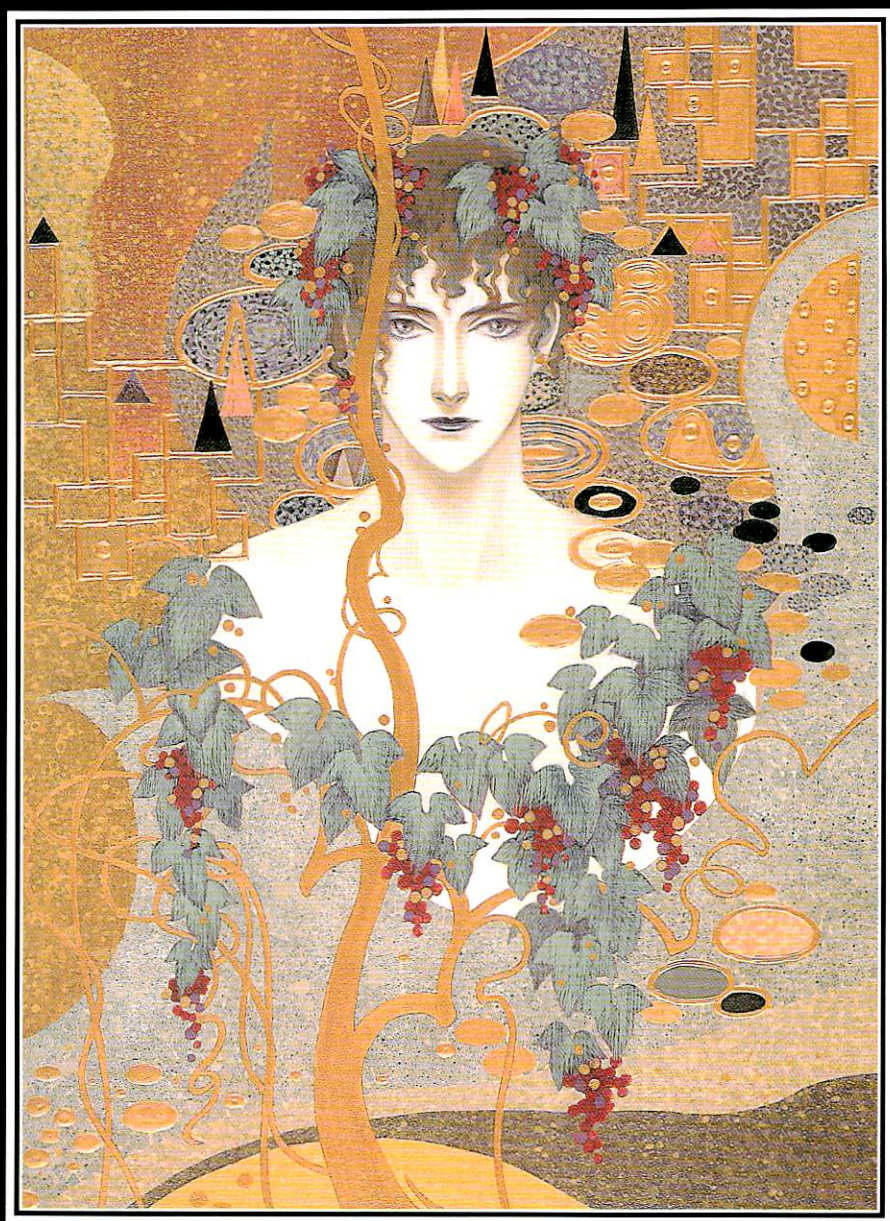
最高神ゼウスとその正妃ヘラの
一人息子にして、勇ましき軍神。
その戦いぶり、勇猛にして果敢、退くこと
を知らず。
狼狽と恐怖の双子の息子を従え、戦いの女神エニュオ
と共に修羅の戦場に現れ、更なる戦闘と流血を煽った。
その無謀きわまりない行動により、危難に遭遇すること一度ならず。
荒ぶる情熱はことごとく戦闘にのみ向けられ、勝敗正邪、一切構わず、
戦とみるや馳せ参じた。

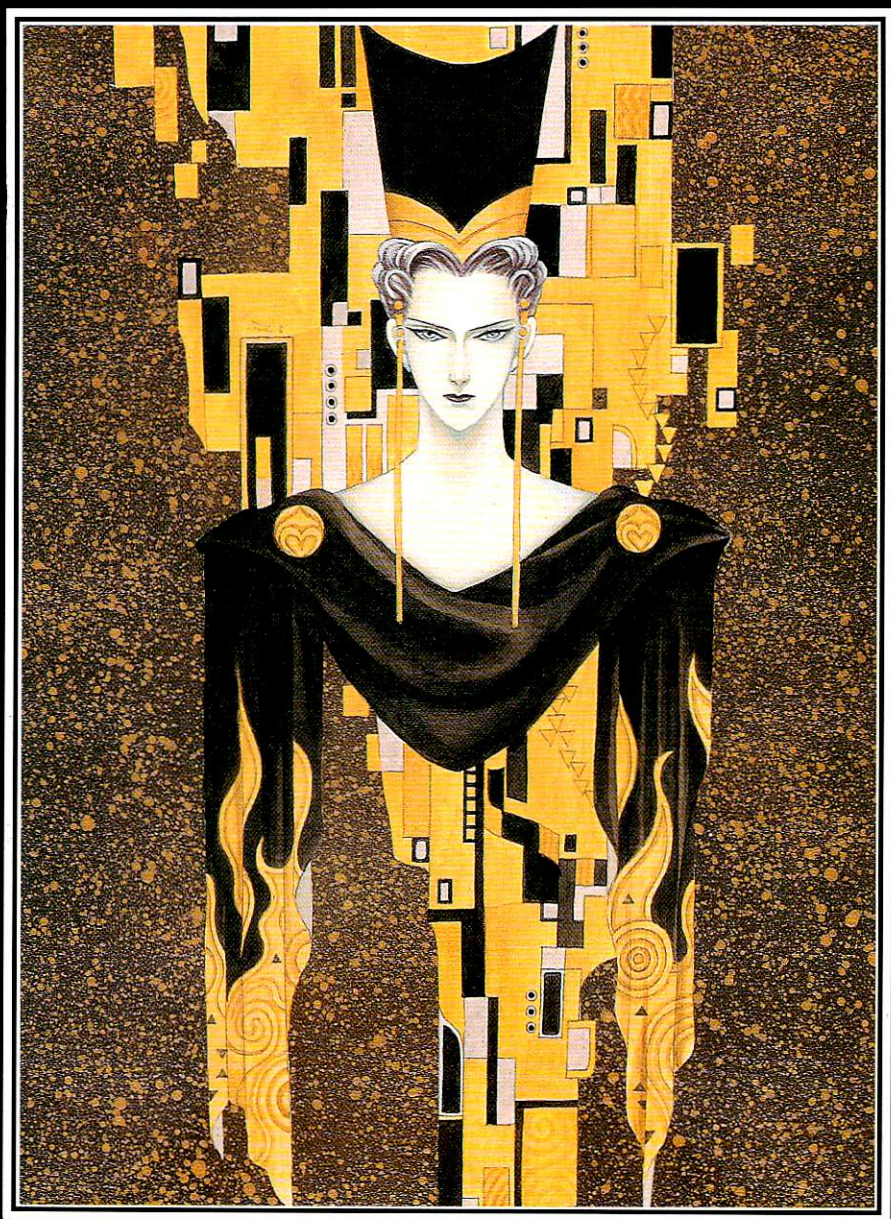
ギリシア時代にはその直情的性格に於いて知られていたが、
後年、ローマ時代にマルスと同一視されるに到り、ローマ軍人の崇拝を受け復権を果たした。

その美しき少年の姿をした神を崇める信仰は、東方より伝来し、やがてギリシア全土に広がった。
山野の精シレノスや牧神サテュロスを従えた

妖しき美少年の神は獣皮と蔦蔓とを身に纏い、
野人の姿そのままに、祭礼の踊りに民人を誘った。
美酒と果物を供物とし、痛飲乱舞のめくるめく
陶酔の只中に身を委ねた心酔せる女達の群れ、
ことごとく子鹿の皮を身に纏い、
松明と葡萄の蔓を配したテュルソス杖を手にして、
夜半、山中での踊りに没頭した。

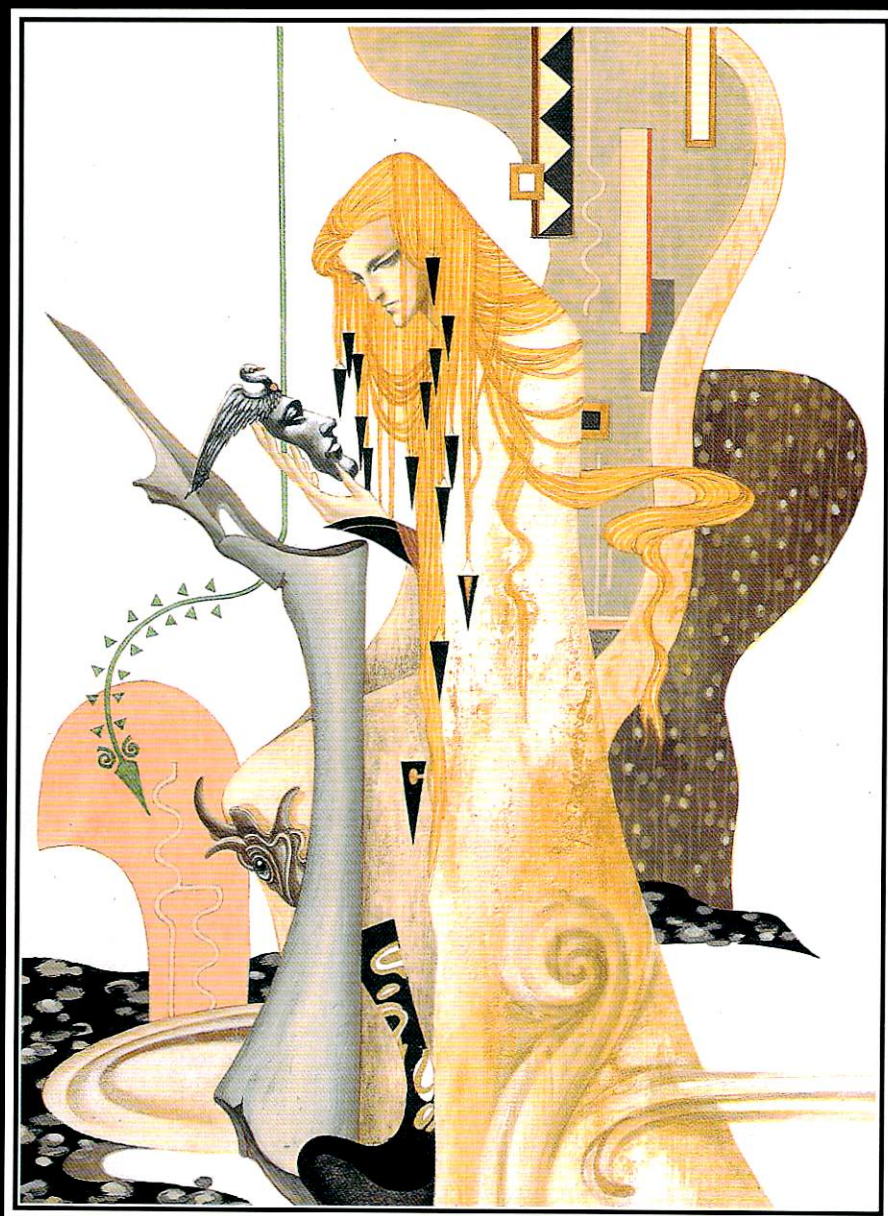
ディオニュソス

ギリシア後期、ヘレニズム世界最大の神にして、
その教義、快楽と開放を謳い、信仰せる者への救済を約す。
新参の神であり、またその儀式の狂乱ゆえか、ギリシア各地に於いて排斥する者跡を絶たず。
ディオニュソスはその者どもに狂気をもって贖わせ、長き受難と放浪の末、
やがてその神性を認められるに到ったという。

天界に於ける数多の女神の中、最も気高く誉れ高き天界の王妃。
即ちオリュンポスの最高神ゼウスの正妃であり、
気品に満ちて典雅なる美貌はその名の通り“貴婦人”そのものである。
婚姻を祝福し、婦人の生活を守護する女神であり、
家庭の秩序と貞節を守る良妻の鑑として崇拝されたが、

反面、神の王たるゼウスのたびたびの浮気に
嫉妬心を燃え立たせ、かかる相手には非情を以て報いた。
その憎悪に於ける神力は凄まじく、執拗な迫害の果てに、
多くは残忍な死に到るまで追いつめた。
この冷酷にして気品高き女神の祀には、
女神の気高さと虚栄の清濁二面を象徴する、美しい孔雀が奉納された。

（あるいは戦の夢）

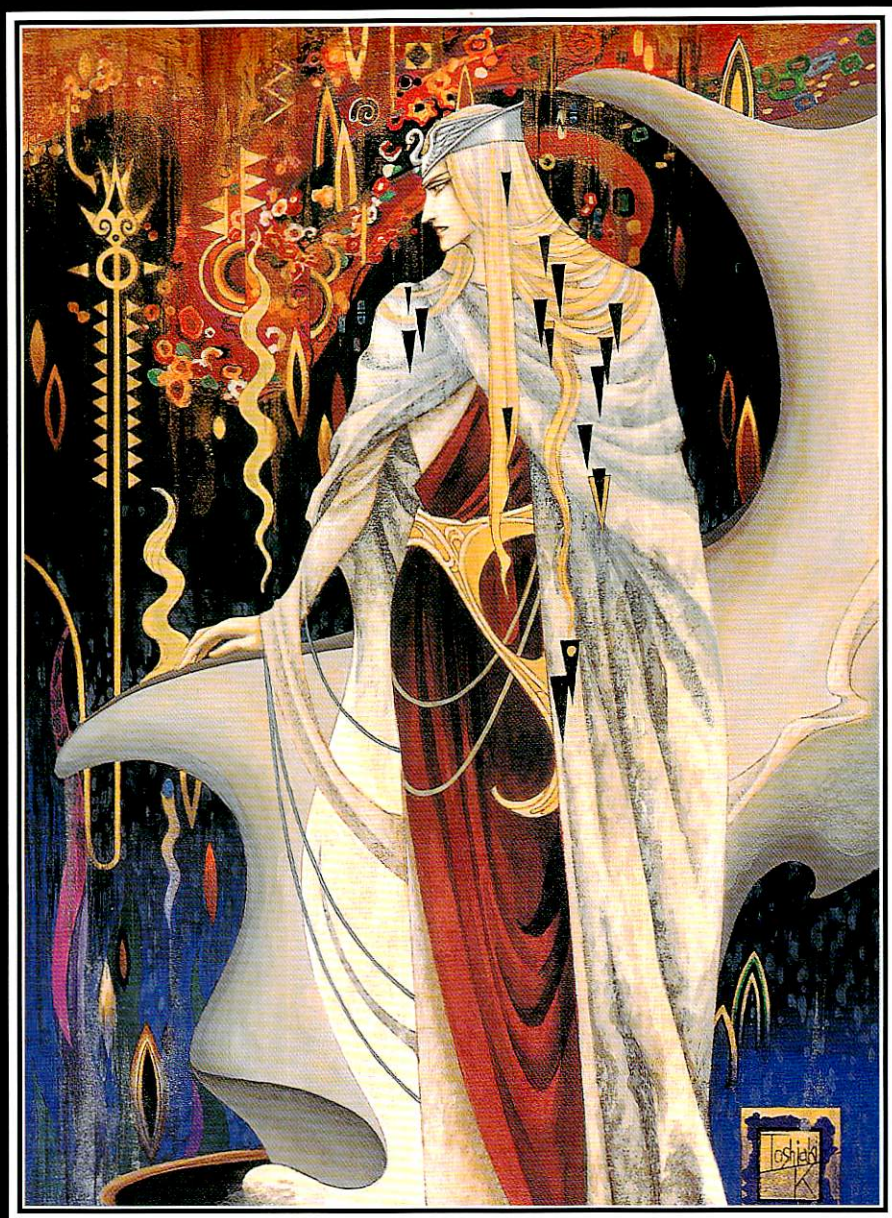
詩　斉城昌美

何時の頃からかは知らぬ。
仮面を作る段取りを、吾は覚えたようだ。
己の心を隠すために、見知らぬ他人になりすますために。
幾通りもの仮面を造り、それを素顔と偽った。

今となっては、どれが仮面でどれが本当の顔であるのか。
己自身にも区別の付かぬ有様だ。
幾つもの仮面が仮面の上に重なり、入り混じってしまったから。
仮面を着けていることさえ、
時々忘れてしまうのだ。

仮面

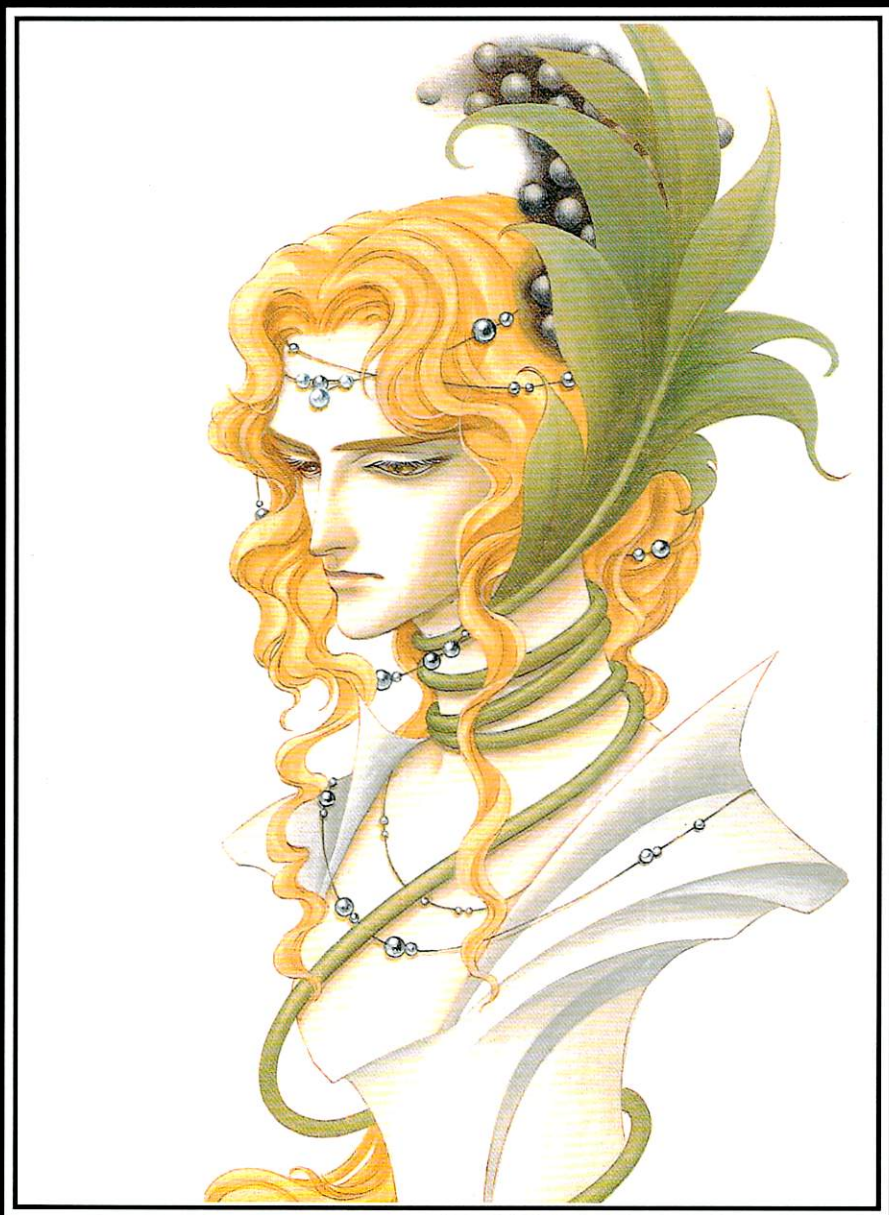
穏やかな晩春の午後、
吾はテラスの椅子に
横たわり、微睡みのなかで夢を見ていた。

戦の野に出でゆく黒い戦装束の若者は、
遠い昔の己であろうか、いまだ戦の酷さを知らぬ時代の。
血戦の後に殪れ伏した戦士の顔から、一枚の仮面が剥がれ落ちる。
「誰ぞ」、とその死に顔を覗き見れば、紛れもなく己自身……。

地に落ちた仮面を両手に取ると、
吾は白い影となって足早に死者の傍らから歩み去った
繰り返し繰り返し、戦場に彷徨いでては死者の仮面を拾い、
虚ろな顔を腕に抱く都度に、
吾はますます朦な影となった。

神々の冥き戯れ

微睡みから醒めて、

吾は急いで夢を追放したが、たぶん、あの白い影は夢の時空を

彷徨いつづけているのだ、いまも……。

天の狼煙火

かくて

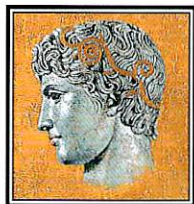
万物流転する宇宙の律動のうちに、

揺らめく陽炎（かげろう）の如く神々もまた変転する

遥（はる）けき過去に放たれし、その幾千の神の手、

幾万の御業（みわざ）に戦慄（わなな）く星々の

光のうちに

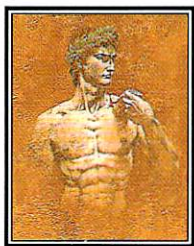
作品解説

（表紙）

本書のための描き下ろし

ボード、アクリック／モデリングペースト　250×250mm

（メインイラスト）

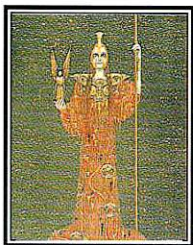
「POPULOUS II」日本ヴァージョン共通パッケージイラストレーション

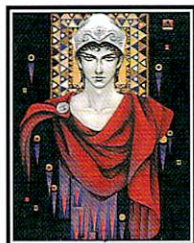
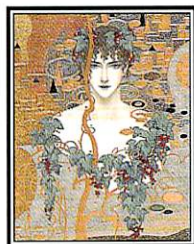
ボード、アクリック／岩絵の具／シェルマチエール　840×590mm

（青年）

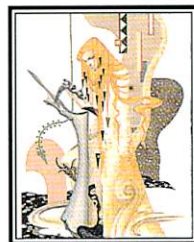
「POPULOUS II」PCヴァージョン用イメージイラストレーション

ボード，アクリック／モデリングペースト　362×257mm

(月と陽の創造)
「POPULOUS II」PCヴァージョン用イメージイラストレーション
ボード、アクリック／モデリングペースト　400×720mm

(青年とゼウス)
「POPULOUS II」PCヴァージョン用イメージイラストレーション
ボード、アクリック／モデリングペースト　400×720mm

(アテナ)
「POPULOUS II」SFCヴァージョン用
キャラクターイメージイラストレーション「アテナ」
ボード、アクリック　514×362mm

(アフロディーテ)
「POPULOUS II」SFCヴァージョン用
キャラクターイメージイラストレーション「アフロディーテ」
ボード、アクリック　514×362mm

（アレス）
「POPULOUS II」SFCヴァージョン用
キャラクターイメージイラストレーション「アレス」
ボード、アクリック　362×257mm

（ディオニュソス）
「POPULOUS II」SFCヴァージョン用
キャラクターイメージイラストレーション「ディオニュソス」
ボード、アクリック／モデリングペースト　362×257mm

（ヘラ）
「POPULOUS II」SFCヴァージョン用
キャラクターイメージイラストレーション「ヘラ」
ボード、アクリック　362×257mm

（仮面）
神狼記ヴィジュアルストーリー「仮面」（あるいは戦の夢）
詩　斉城昌美 NEO FANTASY　1991年　September　大陸書房　1991.8
ボード、アクリック　362×257mm

（神々の冥き戯れ）
神狼記Ⅳ「神々の冥き戯れⅣ」斉城昌美著　大陸書房　1992.3
カヴァーイラストレーション
ボード、アクリック　362×230mm

（天の狼煙火）
神狼記Ⅴ「天の狼煙火Ⅰ落日篇」斉城昌美著　大陸書房　1992.6
カヴァーイラストレーション
ボード、アクリック　362×230mm

（ヘルメス）
「POPULOUSⅡ」SFCヴァージョン用
キャラクターイメージイラストレーション「ヘルメス」
紙、アクリック／カラーインク　350×240mm

この作品集は、コンピューターシミュレーションゲーム
「POPULOUSⅡ・TRIALS OF THE OLYMPIAN GODS」の日本ヴァージョンという形で制作 されたイラストレーションの中から10点、ファンタジー小説「神狼記」シリーズの表紙挿画として制作されたイラストレーションの中から3点を選び編集されたものです。

作品集によせて

「今までのコンピューターゲームにない、全く新しいイメージを展開したい——」イマジニアの岡さんと初めてお会いした日、岡さんはそう言い丁寧にその構想を語られた。それは、英国のコンピューターシミュレーションゲーム「POPULOUSⅡ」の日本ヴァージョンの共通パッケージ、及びPCヴァージョンのイメージイラスト、SFCヴァージョンのキャラクターデザイン、イメージイラストレーションを制作し、ゲームに新たなイメージ展開を付加するという内容の、私にとってはいささか荷の重そうな構想でした。それまで一度もコンピューターゲームをプレイした事のなかった私には、正直なところ自分の描くイラストが、コンピューターシミュレーションゲームという全くの未知の分野でどのように係わっていくのか想像し難く、お引き受けしたものかどうか躊躇するところもありましたが、岡さんの語る構想は、私にとって興味深いものであり、思い切って新たな分野に取り組んでみようと決めたのでした。

いずれの作品も、岡さんをはじめゲーム制作サイドのアドバイスを受けながら制作を進め、PCヴァージョンでは、ゲーム内容が英国のオリジナルヴァージョンの忠実な移植であるということで、オリジナルの持つ世界観を損なわずにドラマティックなイメージを加味しようと、ミケランジェロのシスティーナ礼拝堂の作品群から「月と日の創造」、「空と水の分離」、「アダムの創造」を引用してみました。(2点収録) 主人公らしき青年は「ダヴィデ」を参考にしています。名作の力を借りて、重厚な神話物語のイメージをあらわし得ていれば幸いです。

SFCヴァージョンでは、PCヴァージョンとは趣きを変えて、RPG的な要素や物語性を加味した演出を展開したいという要望にそって、ギリシア神16体をデザインし、イメージイラストを制作しました。(6点収録) 個性豊かなギリシアの神々のイメージイラストには、クリムトに代表されるウィーン世紀末芸術の作品群を参考にしています。伝統的な神話画とは一線を画す、華麗で退廃的なクリムトの作品のように、一風変わった神々の肖像を目指してみましたがどうでしょうか。

イラストを描き上げた時点で作品は私の手を離れて、その後どのような経過をたどりゲーム内容に生かされていったのか、私にはわかりませんが、当初の構想に応えられたかどうか、ゲームをプレイした方々、この作品集を御覧になった方々の判断にお任せしたいと思います。

併録された「神狼記」シリーズのイラストレーションは、私の数少ない挿画作品の中でも唯一ファンタジー小説の表紙挿画として制作されたものです。(3点収録)

作品集の刊行に際しては、「神狼記」シリーズの著者であり、以前、ヴィジュアルストーリーに寄せていただいた詩を再録させていただいた斉城昌美さん、美文のコピーをいただいた天城りえさん、それぞれの仕事の際お世話になった方々に、心より感謝いたします。
又、それぞれ異なるコンセプトで制作された作品群を、岡さんとデザイナーの大川さんのおかげで、神話的世界を描いた作品集としてうまくまとめていただけたと思います。素敵な本に仕立てていただき、ありがとうございました。

加藤 俊章

A MYTHICAL WORLD POPULOUS II
TOSHIAKI KATOH
制作：神藏 孝之
発行：イマジニア株式会社
印刷製本：外国語印刷株式会社
協力：オフィスアースクラン／アート・ギャラリー　せ・らーる
企画：岡 比呂志
デザイン：大川 登
詩：斉城昌美
イメージコピー：天城りえ